

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
教科指導	<p><u>1 分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図ります。</u>  <u>「高志」ある生徒が、卒業時に取得すべき資格等を明確にして、取得するための体制づくりに取り組み、成果を上げます。</u></p> <p>(1)1年生から計画的、段階的に取得技術の高度化を図るとともに、実用に即した資格取得に重点をおいて、補習授業等も行いながら教育実践に努めます。                  (2)実習・課題研究や製図の取り組みの中で、技術技能の向上並びに表現能力に長けた生徒の育成を進めます。                  (ア)ものづくり大会の参加                  (イ)技能検定3級程度の技能練習                  (ウ)建築設計競技会の参加                  (3)図書館の取組として、生徒の「生きる力」を育むため、各教科・各分掌との連携のもと、生徒の世界を広げる読書案内・学習活動につながる教育支援の充実に努めます。                  [目標数値:生徒1人当たり貸出冊数 5冊(2013年度県平均)以上]</p>	<p>(1)各科の特色に応じた資格取得が行われ、概ね達成されました。                  ○機械科：2級ボイラー技士3人合格                  ○建築科：2級建築施工管理技術検定試験3人合格                  ○電気科：電気工事士1種2人合格                  電気工事士2種38人合格</p> <p>○2月末現在、生徒全体で3087冊、1人あたり5.4冊の貸出実績があり、目標を達成しました。</p>	<p>各科で取得すべき資格を行動計画に示し、資格取得に取り組みました。しかし、合格に向けては、放課後や土日の補習が欠かせません。放課後等の補習については、年間計画を立て、部活動との両立を検討する必要があります。</p> <p>○2月末現在、生徒全体で3087冊、1人あたり5.4冊の貸出実績があり、目標を達成しています。</p>
生徒指導	<p><u>2 基本的生活習慣を身につけた、社会常識のある明るく素直な生徒の育成を目指し、身だしなみを整えること・挨拶励行の取り組みをより一層推進します。</u></p> <p>(1)挨拶の励行や時間の尊重、身だしなみ、礼儀作法等を正しくわきまえ、ルールを遵守する生徒を育てます。                  (ア)全教員による登下校校門指導と校内巡視(毎日)、挨拶の励行100%                  (イ)駅前・町内巡視の実施                  (ウ)5分前精神の徹底(時間を守る・遅刻しない)                  (エ)授業に集中させるために入室許可証の発行実施                  (オ)頭髪服装指導(通年)・身だしなみ講座(4</p>	<p>H27年度 1月末 統計より                  頭髪服装指導不合格者 約48%減                  遅刻 約30%減                  早退 約21%減(昨年度比)                  特別指導件数33件42名                  昨年度32件44名(ほぼ同数)</p> <p>・今年度も引き続き、頭髪服装指導を厳格に行うことで、不合格者を減らすことができました。事前の予告注意を学年団・放送・生徒指導部で行ったことにより教員全身体</p>	<p>・頭髪服装検査は、しつけ重視ということで、身だしなみの大切さを意識づけさせるため厳格に行っています。昨年から引き続き、検査の事前予告注意を毎回様々な方法で行うことで、生徒全体の意識や教員全体の指導意識も上がり、成果をあげられたと考えます。                  ・遅刻・早退の減少は、昨年度から始めた6・11・2月の遅刻防止強化月間と教室退出時の入室許可制度が、生徒に確立されてきており、時間への関心が高まった結果と考えられます。                  ・校内での携帯電話使用の禁止は、回数により預か</p>

	<p>月)の実施  (2)日々の授業や学校行事等、教育実践全般を通じて継続的モラル教育を実践します。  (7)遅刻・早退・欠席指導の継続(前年度の20%減)  (イ)校則違反等による特別指導件数の減少(15件以下に減)  (3)工業高校生としての連帯感を高め、生活規範を身につけさせます。  (7)新入生研修の実施(4月)  (イ)各科や各学年を通した指導  (ウ)部活動での人間関係の育成  (4)学校の様子を積極的に保護者に発信し、生徒・保護者との意志疎通に努め、生徒指導の意義や目的への理解を高めます。(保護者や学校関係者以外の意見、HR活動や個別懇談の状況把握等の実施)  (7)保護者会やPTA諸会合での説明  (イ)学年懇談会での話し合い  (ウ)生徒個別面談を年間2回実施、学校生活等に関するアンケートを各学期に実施</p>	<p>制での頭髪服装基準が実行でき、生徒の意識にもその重要性が浸透し、この減少に繋がったと考えられます。一昨年度と比べ、約70%減でありました。  ・遅刻者は、昨年度より30%減となり、昨年度から始めた6・11・2月の遅刻防止強化月間が、生徒の時間への意識を変え、この減少を生んでいると考えられます。早退も含め生徒全体の時間への関心が、昨年度から始めた入室許可制度により確立されてきています。  ・登下校指導、校内巡視を全教員で定期的に行うことで、生徒の行動も落ち着き、苦情は減ってきています。しかし、まだ校内校外における喫煙等の形跡があります。  (3)ア 新入生研修を実施。(4月)</p>	<p>り期間が延びるにもかかわらず、減少したとは感じられません。  ・特別指導は、現2年生が28人と多く、昨年度より引き続き、規範意識の低さが見受けられる。今後も自尊感情(自分を大切に思う心)を、持たせられるように、学力の向上や人間性の向上に取り組ませる必要があります。  ・今年度も生徒指導部の仕事が学生服変更もあり、非常に繁雑であったが、全教員への協力体制を働きかけ、答えてくださった担任団を含む全教員の協力のもと一貫した指導体制が構築されたと感じます。この体制を引き続きお願いしたいと思います。  (3)ア 2日間にわたり新入生研修を実施した。宿泊を伴わない校内での研修は2年目で、研修内容毎年改善していく必要があります。</p>
<p>学校運営</p>	<p><b>3 南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深めます。</b>  (1)地域関係者(小中学校、学習塾、地元自治会、関係機関)との連携強化に向けて、各種行事やイベントに積極的に参加します。  (取組状況の指標)  ・小学校出前授業5回実施、学習塾説明会の開催、七夕大そうじ、伊勢まつりへの参加など  (達成状況の指標)  ・参加者の感想から、南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を確認し、改善につなげます。  (2)地元企業との連携強化に向けて、双方向からの情報発信・相互理解を深めるための行事を実施します。  (取組状況の指標)  ・地域における就職促進につながるよう、地元企業の高校内企業説明会を実施します。  (達成状況の指標)  ・地元企業の実態等の把握を含め、職業意識形成支援につなげます。</p>	<p>七夕大そうじなどへ参加予定で計画し、生徒等人数も把握したが当日雨天で延期になり本年度は参加できませんでした。  (1)小学校の出前授業4回実施、学習塾説明会を開催。七夕大そうじは雨天中止。伊勢まつりには今年度は不参加となりました。</p>	<p>中止になったため参加の意思の表示のみとなりました。  (1)来年度以降も地域関係者との連携を強化するために各種イベント等に積極的に参加していく必要があります。</p>

<p style="text-align: center;"><b>進路指導</b></p>	<p><b>4 第1希望の進路が獲得できてこそ、活気ある工業高校が実現できます。基礎学力向上に向けた取り組みの充実と、面接が「自分の人となりの魅力を伝える」場となるよう表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組めます。</b></p> <p>(1)キャリア教育を推進して、生徒・保護者の希望に合った進路実現をめざします。 (取組状況の指標) ・県内外への企業訪問をさらに拡充し、求人企業数・求人数・内定者数の向上に取り組めます。 ・基礎基本の学力向上のための取り組みについて、継続的に実施・協議・検討を行います。 ・表現力・コミュニケーション能力向上のため、全職員及び外部講師を活用し「面接指導」、「みだしなみ講座」等を実施・充実させます。 (達成状況の指標) ・キャリア教育を推進して、正しい職業観・勤労観を身に着けさせ、主体的に進路選択進路決定できる生徒を育て、生徒のニーズに応じた望ましい就職・進学先の決定につなげます。</p>	<p>・1年次では、英語・数学・国語、2年次後半からは、各種就職試験に対する取り組みを実施し、学習習慣の確立を図るとともに、確認テストを実施することで、学力の定着を図りました。また、今年度から導入した基礎力診断テストで基礎学力を測定し、自分の学力を客観的に把握することで進路決定に役立てるとともに、学習の成果から新たな目標を持たせることを図りました。</p> <p>・就職内定率は99%（1月末現在）。今年度の求人は、県内 227 社 356 名、県外 134 社 177 名、合計 361 社 533 名となり、倍率は3.60 倍でした。</p> <p>・進学については四年制大学 10 名、短期大学 6 名、専門学校 19 名、その他各種学校 5 名の、合計 40 名が合格しました。</p>	<p>・学校斡旋を希望する生徒 148 名中 147 名が内定しています。なお一次試験は 152 名が受験。内定率は 80.9%で、昨年度に引き続き、80%を超えました。</p> <p>・進学希望者には、オープンキャンパス等への積極的な参加を勧め、強い進学意識を持たせるとともに、卒業後の進路についてももしっかり考えさせることにより、志望する学校等の理解を深め、合格に繋げることが出来ました。</p> <p>・学習教材や各種テスト等の活用により、少しずつではありますが学力向上に繋がっています。その結果、入学試験や就職試験の一次試験の成績が向上し、合格率・内定率が安定してきました。しかし、基本的なコミュニケーション能力が乏しい等、高校入学時から特別支援的なサポートが必要ではないかと思われるケースが増加しています。</p>
<p style="text-align: center;"><b>組織力の向上</b></p>	<p><b>5 教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努めます。</b></p> <p>(1)教職員が意欲的に業務に取り組み充実感を得ることができるよう、組織の在り方や業務内容の見直し、過重労働の削減などにつながる快適な職場作りに取り組めます。 (取組状況の指標) ・会議の運営や回数の見直しに取り組めます。 ・考査中や長期休業中は定時退校の推進を図ります。 (達成状況の指標) ・職員満足度調査を実施し実態を把握すると共に、働きやすい職場への改善につなげます。 (2)分掌、学年団のブロックを活用して、更に対話を促進します。</p>	<p>○会議の精選に取り組みながらも必要な会議は、急遽、開催するなどその状況に応じた対応を行いました。</p> <p>○職員室に配置された学年団のブロックにより情報共有が進んでいます。</p> <p>○本校独自の職員満足度調査まで踏み込めませんでした。</p>	<p>個人の負担軽減を考え、組織的な業務の運営を検討します。更に対話を深め、学校の教育課題を議論しながら学校教育目標の達成に向け活動していきます。特に総勤務時間の縮減に向け、一層の業務の効率化と行事等の精選を図っていきます。</p> <p>○職員満足度調査は、今後の検討課題です。</p>

## (2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"><li>● 別表にあるような資格の取得に向け、放課後などの補習により多数の合格者を出しています。</li><li>● 学校全体で頭髪服装指導や登校指導を行い、基本的な生活習慣を改善しています。</li><li>● 工業三科の特色をとらえたイベントへの参加をしています。(全国高校産業教育フェア、伊勢志摩サミットカウントダウンボードの作成)</li><li>● 小学校への出前授業や学習塾説明会の開催をしています。</li></ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基礎学力が低く、多くの資格は取得しているがそれぞれの資格合格者数は他校よりも少ないです。</li><li>● 特別指導の件数が昨年度とほぼ同数であり、人間性の向上に取り組ませる必要があります。</li><li>● イベントへの参加が一部の教員・生徒だけで、地域関係者との連携を強化するためにも学校全体でイベントに参加する必要があります。</li></ul>

## (3) 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等							
<実施回数> 3回							
実施内容	<table><thead><tr><th>第1回</th><th>第2回</th><th>第3回</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1) 学校関係者評価について (2) 平成27年度学校経営の改革方針について (3) その他</td><td>(1) 公開授業</td><td>(1) 平成27年度学校活動報告について (2) 平成27年度学校評価報告書について (3) その他</td></tr></tbody></table>	第1回	第2回	第3回	(1) 学校関係者評価について (2) 平成27年度学校経営の改革方針について (3) その他	(1) 公開授業	(1) 平成27年度学校活動報告について (2) 平成27年度学校評価報告書について (3) その他
第1回	第2回	第3回					
(1) 学校関係者評価について (2) 平成27年度学校経営の改革方針について (3) その他	(1) 公開授業	(1) 平成27年度学校活動報告について (2) 平成27年度学校評価報告書について (3) その他					

## (4) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 出前授業やイベントへの参加は、工業高校の理解に大きな役割を果たしています。さらに新聞報道されることにより学校の様子がよくわかります。今後も継続して行い、広報活動につなげてください。</li><li>○ 出前授業の実施による成果をアンケート等により把握して、課題を分析することも必要だと考えます。</li><li>○ 生徒の進路状況は素晴らしいものがあります。今後も求人活動や進学指導を計画的に行い、希望する進路実現に向け、力を注いでください。</li></ul>

## (5) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 資格取得のために部活動との両立を図りながら、放課後の補習などを継続して行っていきます。また、資格取得のための勉強を個人でも行うことができるような環境作りを進めます。</li><li>● 工業科の標準テストを取り入れるなど、県内での本校工業科の位置付けを把握します。</li><li>● 基礎学力向上のために興味を持たせるような授業を継続して行っていくと共に、就業体験(インターンシップなど)を行うことにより勉強のための動機付けを行います。</li></ul>	